

(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322

盛夏の候、貴社におかれましては益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。平素は一方ならぬご愛顧を賜り、心より御礼申し上げます。東京オリンピック、パラリンピック開催を巡り色々となりましたが、7月23日から8月8日までの予定で行われます。選手の方たちには今までの練習の成果を発揮して、素晴らしい競技会にさせていただきたいと思っております。(営業部)

＜編集者＞
塚原 佳由
望月 博隆
小林 龍也
村松 貴
赤木 健三
山田 幸平

鋼種 Q & A ～鉄鋼について～

皆さんが一度は加工したことがある鉄と言われている金属ですが、正式名称は「鉄鋼(てっこう)」と呼びます。鋼を始め純鉄、銑鉄、鋳鉄、鋳鋼を含む鉄の総称を言います。逆に非鉄金属とは鉄を主成分とした合金の事を言い、アルミ、チタン、銅、亜鉛、鉛、金、銀、レアメタルなどに区分されます。鉄鋼は大きく分けて鉄(Fe)と微量の炭素(C)による合金の**炭素鋼**(普通鋼)と、その炭素鋼に複数の合金元素などを加えた**合金鋼**(特殊鋼)に二分されます。日本工業規格(JIS)の規格から簡単な例を挙げるとしたら、炭素鋼はSS材やSPCなどの冷間圧延鋼板の事で、特殊鋼(合金鋼)はSC材からSK、SUJ2、SUSやJIS規格以外にメーカー独自の材質もあります。

ではどうやって鉄鋼を作っているのでしょうか？大きく分けて2つの方法があります。

- ①高炉法：鉄鉱石から鉄を取り出す
 - ②電炉法：スクラップ(屑鉄)から鉄鋼を再生
- 上記の方法で製造された鋼を粗鉄と言います。右の図は2016年の国別粗鋼生産ランキング表です。この表は鉄鋼の生産高を示すバロメーターとしての総計指標で、景気の動向を示す指標となっています。その為2016年では中国がダントツの世界NO1になっており、高景気だった事が分かります。このように鉄鋼の生産量などからも景気動向が分かってしまうほど必要不可欠な素材です。

粗鋼生産ランキング

順位	国別	生産高(百万トン)	企業別	国(本社)	順位(前年)
1	中国	831.7	アルセロール・ミッタル (ArcelorMittal)	ルクセンブルク	95.4
2	日本	104.7	中国宝武鋼鉄集団 (ChinaBaowenGroup)	中国	63.8
3	インド	101.4	河北鉄鋼集団 (HBISGroup)	中国	46.2
4	米国	81.6	新日鐵住金 (NipponSteel&SumitomoMetalCorporation)	日本	46.2
5	ロシア	71.3	ポスコ (POSCO)	韓国	41.6
6	韓国	71.1	江蘇沙鋼集団 (ShagangGroup)	中国	33.3
7	ドイツ	43.6	鞍山鉄鋼集団 (AnsteelGroup)	中国	33.2
8	トルコ	37.5	JFEスチール (JFESteelCorporation)	日本	30.3
9	ブラジル	34.4	首鉄集団 (ShougangGroup)	中国	26.9
10	イタリア	23	タタスチール (TataSteel)	インド	24.5
総計		1,690	*2017年に新日鉄は3位に浮上 *神戸製鋼は50位		

今回は鉄についてほんの少しだけご紹介させて頂きましたが「もう少し詳しく知りたい!」「ある鋼種について知りたい」などのご希望がございましたら、弊社では**オンラインリモートを使った相談室や勉強会**なども実施しております。鋼種について社員のスキルUPや個人でのスキルUPをご希望の方は、担当営業までご相談ください。必ずお力になれると考えております。

★社長のワンポイント★6月の後半は暑すぎで梅雨がない年?そんな気配もありましたが、やっと梅雨らしく季節を感じられるようになりました。さて、製造業の気配は??半導体市場が今までに無い異常事態で慌ただしくなっているのが現状です。製造装置も必死に次の時代にそった製品を早急に創り出さなくてはという必死さが垣間見られます。自動車・家電製品すべてに必要な半導体。大きく世界が変わる瞬間ですね。特に、日本の教育現場は教育カリキュラムが変わり、プログラミングという教科が新たに出来、親も教育現場も必死に付いていかなくてはならない状況になっていきます。デジタル社会に対応するため、学校教育も大きく変化しなくてはならない瞬間。職場でも同様に、在宅ワークという新たなスタイルでの仕事のやり方。なくてはならないのが、PC、タブレット、通信環境、カメラ、マイク・イヤホン。すべて半導体が使用されているものばかり。全世界で一斉にインフラ整備が行われている現在、仕事のやり方、生活の方法が見直し……。業界も一斉にデジタル革命の中に一気に突入致しました。半導体市場、この3年は慌ただしく動くとも言われております。どうやって事業革新を行って次の時代に沿った商いをし、御客様に対してお応えしていくのか思索しながら「実践改革の時」営業は勿論、仕事の中身を精査しながら一気に走り抜けなくてはなりません。現在、Zoom・Microsoft Teamsを使用した提案型営業の推進を営業部(塚原・望月・村松・山田)が企画しております。営業部隊に期待してお待ちください。

★国中エリア 塚原★6月国中エリアの状況ですが、半導体関係の稼働が好調のまま推移している状態が続いており、2次下請け企業も忙しく動いているようです。車関係では半導体チップの供給不足が騒がれていましたが、今では生産も回復を始めたと聞きます。切削メーカーに関しましてはメンテナンス作業が忙しく動いていますが、販売に関してはまだまだのようです。今月23日から東京オリンピックが開催されます。出場される選手達には悔いのないよう全力で戦っていただき、我々も精一杯のエールを送りたいと思っております。

★郡内エリア 望月★6月の郡内エリアの状況ですが、工作機械関係では、好調をキープしております。MC系の他にロボット系が好調で9月から増産する可能性があるそうです。半導体関係では、1社が好調をキープしており、9月まで注文が入っていて8月までは生産があるそうです。自動車関連では、生産数が出てきており忙しさがあるそうです。半導体不足で恩恵がある企業もあれば生産が出来ず止まっている企業もあります。今、国内で仕事でているのは海外向けが多いです。国内ではまだまだ回復にはほど遠く3月と比べると減産傾向は否めません。世界で動きが無い分、色々な物が品不足であり材料業界でも深刻な問題になってきております。また、その影響で7月からアルミとSUSが値上がりします。この厳しい状況ではありますが、ワクチン接種でアメリカ、EUが動きはじまりました。これからは良い方向に向かうと思っております。今後の動向に注意していきたいと思っております。

★上野原エリア 山田★上野原エリアの動向は、半導体関係が比較的良い動きをしています。8月までは計画も出ているとのお話も伺いましたし、リピート品の注文数も安定しているとの事です。自動車やトラック関係も安定して仕事の流れがきているようです。試作関係も出てきているようで忙しいです。試作関係も増えてきたように感じております。東京、埼玉、神奈川方面でも同じような状況で仕事量が安定してきているお客様が多くなってきた様に感じております。相変わらず価格競争は激しい状況で、見積もり合戦が起きているようです。オリンピックが開催され、景気的面でどの様な影響が出てくるのか、注視していきたいと思っております。